

3月定例会

一般会計当初予算は2年連続の緊縮型予算

第1回定例会の初日、市長は施政方針説明で平成17年度予算については、歳入に見合った歳出構造の構築をめざしつつ、各種市民サービス維持・堅持に意を尽くして、限られた財源を効率的・効果的に配分した予算としたと表明しました。

一般会計当初予算は、中心商店街賑わいまちづくり推進事業について、計画が不十分ということの一部修正可決しました。市政一般質問では、19名の議員が市政全般について質問しました。

平成17年度当初予算

一般会計

予算の総額は、300億7千万円で前年度より13億6千万円、4・3%の減額となっており、2年連続の超緊縮型予算となっております。

「歳入」

前年度比減は、地方交付税が8・4%、6億2千万円、国庫支出金が1・8%、約7千万円、繰入金が財政健全化計画の実施により68・8%、約2億4千万円、市債が減税補てん債借換や臨時財政対策債などにより31・1%、約13億2千万円。

前年度比増は、個人市民税、固定資産税の増などにより2・6%、2億2千万円、地方譲与税が29・6%、約1億4千万円、県支出金が保険基金安定負担金などにより9・3%、約1億3千万円、諸収入が地域開発融資資金の増などにより11%、約3億3千万円。

「歳出」主に新規事業

総務費

行政改革懇話会設置事業

13万5千円

総合計画策定事業(継続)

1840万円

IT調査研究事業



莓高設栽培

総合防災訓練事業 21万7千円

地籍調査事業(継続) 260万円

民生費 6812万9千円

子ども情報伝達研究事業

150万円

衛生費

健康審査費(継続)

1億372万6千円

農林水産業費

ながさき「食と農」支援事業

6173万円

園芸ビジョン21対策事業(莓高設栽培ベンチ設置) 1567万5千円

生産振興総合対策事業(莓ハウス導入事業)

商工費

歴史を活かしたまちづくり戦略策定事業 9042万円

土木費

防衛施設周辺整備事業(継続)

1億755万7千円

急傾斜地崩壊対策事業(釜川内地区) 500万円

街路事業(継続)

4億6000万円

都市基盤河川改修事業(継続)

1億2000万円

地方道路整備臨時交付金事業(継続) 4億3000万円

公営住宅整備事業(継続)

3億8189万8千円

臨時地方道整備事業

2億7036万円

消防費

消防防災施設整備

2057万6千円

教育費

小学校大規模改造事業(継続)

1億8000万円

英語力向上草の根事業

47万3千円

三城城跡保存整備事業

230万3千円

北部地区コミュニケーションセンター建設事業 365万6千円

平成17年度一般会計予算(300億7千万円)

